

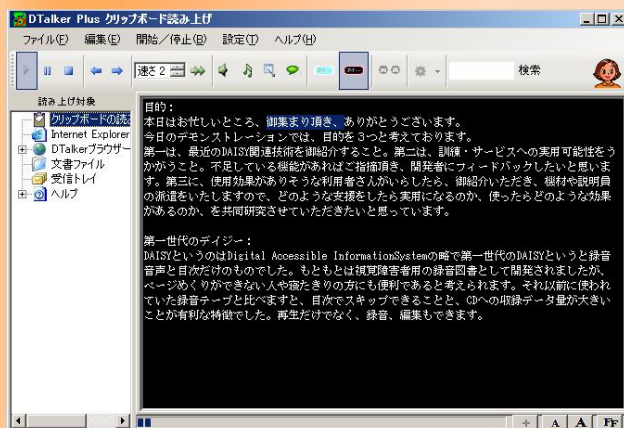
キーワード: 学習障害、ディスレクシア、DAISY

情報機器を活用した読み支援 視覚障害・発達障害への電子図書活用

なんのための研究？

この研究の目的は、情報技術を活用して「読むこと」を支援する方法を確立することです。

視覚障害者や発達障害者には、音声・拡大文字・画像が読みを補助することが指摘されています。全障害を対象に教材を電子化し、その効果を明らかにします。

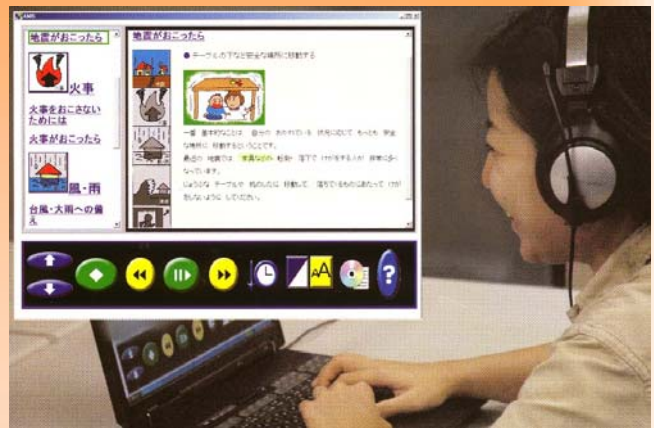


御集まり頂き、

実用化に向けて

- ・すべての公立図書館にはDAISY録音図書目録が平成12年に配布されています。
- ・義務教育機関においては教科書の電子化は著作権の対象外になりました(2008.9)。
- ・防災マニュアル、教科書を作成しました。
- ・ワード・ファイルを自動DAISY変換するソフトが無償で配布されるようになりました。
- ・DAISYコンソーシアムが国際テレコミュニケーション連合賞を受賞し(2008.5.)、プリント・ディスアビリティ、少数民族、文字文化のない民族などへの情報格差の解消に貢献しています。

<http://au.youtube.com/watch?v=zERQTS4N0pk&feature=user>

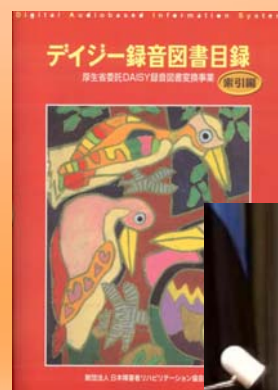


研究のポイントは？

・弱視者用に開発された画面読み上げソフトは発達障害者にも有効でした。

・電子図書の国際規格であるDAISY (Digital Accessible Information System)にルビや動画規格を追加します。

・具体的な支援方法を検討中です。



研究代表者

国立身障害者リハビリテーションセンター研究所
障害福祉研究部

河村 宏 hkawa@attglobal.net ・北村弥生 kitamura-yayoi@rehab.go.jp

